

DBJ・JTBF アジア・欧米豪 北海道観光に関する 訪日外国人旅行者の意向調査（平成29年版）

～アジア圏の北海道ブランドは引き続きトップクラス、欧米豪圏の認知度・訪問意欲は依然として低い～

【概要】

- 北海道の訪日外国人数は、東日本大震災の影響が一服した2012年度の79万人以降アジア圏からの旅行者を中心に大幅な増加傾向が続き、2016年度は過去最高となる230万人を記録した。訪日外国人来道者の内訳は台湾・中国を中心とするアジア圏が9割弱を占めており、欧米豪圏からの来道者の割合は低位にある（北海道経済部観光局統計）。
- （株）日本政策投資銀行は2012年より継続的に「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表してきたが、2015年からは（公財）日本交通公社と共同で調査を実施している。本年においては、昨年引き続きアジア・欧米豪12地域（ ）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施した。本レポートは、その調査結果から「北海道」及び道内の観光地に関して分析し取りまとめたものである。

調査対象地域は中国、台湾、香港、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、イギリス、アメリカ、フランス、オーストラリア。

【要旨】

- 「北海道」への訪問経験、認知度及び訪問意欲は、アジアにおいては引き続きゴールデンルートに次ぐトップクラスである一方、欧米豪においては依然としてアジアと比較して低位にある。また、過去調査の推移をみるに、「北海道」は「東京」・「大阪」と比較して認知度に対する訪問意欲の割合は高いものの、訪問意欲に対する訪問経験の割合は低くなっている。
- 道内各観光地において、訪日回数が増すに連れて認知度・訪問意欲はともに上昇する傾向にあるが、認知度の上昇ほどに訪問意欲が上昇しない観光地もみられる。
- 訪日外国人旅行者の旅行形態は個人旅行化が進展しており、それに伴い移動の際の交通手段として鉄道や乗合バス、レンタカーを利用する旅行者が増加しており、公共交通機関において周遊パスの利用も7割強みられる。
- 北海道観光に期待することは、アジアでは引き続き自然・風景見物や雪景色鑑賞が上位を占めており、全国と比較すると登山・ハイキングやサイクリングといったアクティビティに関する項目への期待が高くなっている。また、欧米豪ではアジアと比較してエコツーリズムや歴史的建築物の見物などが上位となっている。
- 北海道訪問経験者においては、日本料理や温泉等の満足度は引き続き高く、一方で繁華街の街歩きやギャング・ショー体験といった項目への不満が高くなっている。なお、宿泊施設、エコツーリズム、スイーツについては、北海道訪問前の期待の高さに比して、実際の訪問後には満足が得られていない可能性がある。

【結び】

- 「北海道」は、アジア圏を中心に引き続きトップレベルのブランド力を有しているが、その高い訪問意欲を実際の訪問に繋げていく更なる取り組みが求められる。依然として認知度・訪問意欲の低い欧米豪圏に対しては、競合する他の国内観光地と差別化した戦略的な誘客策が必要であろう。一方、個別の道内観光地については、認知度が訪問意欲に結びついていない観光地も散見されるため、地名だけでなく、DESTINATIONとしての魅力を十分に伝える様な情報発信等が必要と考えられる。
- 個人旅行化が進む中で、地元住民が普段利用している公共交通機関を訪日外国人旅行者が利用する機会が増加しており、多言語対応や利便性向上などの対策が求められる。
- 北海道に優位性のある観光資源（自然・風景、温泉等）については訪日外国人旅行者の期待に一定程度応えられているが、今後は日中だけでなく夜まで楽しめるコンテンツの充実が課題といえる。

調査概要

- 調査方法：インターネットによる調査
- 実施時期：2017年6月29日～2017年7月12日
- 調査地域：中国、台湾、香港、韓国、タイ、インドネシア、マレーシア、シンガポール、イギリス、アメリカ、フランス、オーストラリアの12地域
 中国は北京及び上海在住者のみ
 イギリス、アメリカ、フランス、オーストラリアの4地域は前回調査から加わった。
- 調査対象者：20歳～59歳の男女、かつ、海外旅行経験者
 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、
 アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、
 イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く。
- 有効回答者数：上記各地域に居住する住民計6,274人
 中国は北京および上海在住者のみ（割合は北京50%：上海50%）
- 協力実査会社：楽天リサーチ株式会社

有効回答者数

(単位:人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
男性	3,026	2,011	273	251	244	214	262	244	265	258	1,015	247	257	252	259
女性	3,248	2,138	248	282	260	305	253	270	254	266	1,110	279	269	287	275
総計	6,274	4,149	521	533	504	519	515	514	519	524	2,125	526	526	539	534

訪日経験別回答者数

(単位:人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
訪日経験なし	3,482	1,791	191	163	86	89	217	291	386	368	1,691	390	396	460	445
訪日経験者(1回)	1,153	929	121	207	111	82	124	94	84	106	224	50	72	45	57
訪日経験者(2回以上)	1,639	1,429	209	163	307	348	174	129	49	50	210	86	58	34	32
総計	6,274	4,149	521	533	504	519	515	514	519	524	2,125	526	526	539	534

- 日本の観光地における選択肢は以下のとおり。

囲みの選択肢は北海道内の観光地を示す。「旭川/富良野」は今回調査より加わった。

東京、富士山、箱根、日光、松本/白馬、軽井沢、川越、横浜、北海道、札幌、函館、帯広/十勝、ニセコ、知床/阿寒、旭川/富良野、東北、青森、秋田/角館、山形/蔵王、岩手/平泉、仙台/松島、福島、新潟、佐渡、北陸、金沢、立山/黒部、富山、飛騨/高山、名古屋、伊勢/志摩、関西、京都、奈良、大阪、神戸、岡山、倉敷、広島、山口、鳥取、松江/出雲/石見、四国、高松、直島、しまなみ海道/せとうち、松山/道後、徳島、高知、九州、福岡/博多佐賀、長崎、別府/湯布院、熊本/阿蘇、宮崎、鹿児島、奄美、沖縄

計59箇所

意向調査結果

1. 「これまでの訪日旅行でどの地域を訪問しましたか？」

< 訪日経験者 >

- 訪日経験者が「北海道」を訪問した比率は、12地域全体で26%（順位5位）、アジア全体で29%（順位5位）と多くの対象調査地域でゴールデンルート（東京～大阪間を周遊する観光ルート）に次ぐトップレベルにある。一方で、欧米豪全体では7%（順位10位）とアジア全体に比べて低い水準にとどまっている。
- 道内の各観光地の中では、訪問経験率は「北海道」に次いで「札幌」が高く、3番手は「函館」であり、欧米豪全体では「函館」は前回調査2%→4%に上昇している。今回調査から追加となった「旭川／富良野」は、12地域全体で5%（順位20位）と比較的高い水準となっており、特に台湾・香港での訪問経験率が高い。

【図表1】これまでの日本旅行における訪問地域（複数回答）

	12地域全体		アジア全体																	
			中国		台湾		香港		韓国		タイ		インドネシア		マレーシア		シンガポール			
サンプル数	2792		2358		370		418		430		330		298		156		133		223	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	26%	⑤	29%	⑤	32%	④	34%	④	36%	⑤	11%	⑩	35%	④	24%	⑤	29%	⑤	26%	⑤
札幌	18%	⑦	20%	⑥	12%	⑨	29%	⑤	29%	⑦	11%	⑩	17%	⑦	14%	⑧	20%	⑥	19%	⑥
函館	9%	⑯	10%	⑯	3%		24%	⑧	18%	⑬	2%		4%		2%		7%	⑮	7%	⑬
帯広／十勝	3%		2%		1%		6%		4%		0%		2%		1%		0%		0%	
ニセコ	1%		1%		2%		1%		1%		1%		1%		0%		2%		4%	
知床／阿寒	2%		2%		3%		4%		2%		0%		0%		2%		0%		1%	
旭川／富良野	5%	⑳	6%		2%		12%	⑱	12%	⑱	2%		2%		3%		4%		4%	

東京	60%	①	60%	①	62%	①	59%	①	70%	①	42%	②	59%	①	65%	①	53%	①	68%	①
大阪	40%	②	43%	②	31%	⑤	45%	②	59%	②	42%	①	36%	③	44%	③	41%	②	35%	④
京都	38%	③	39%	③	38%	③	44%	③	47%	③	32%	③	33%	⑤	44%	③	32%	④	36%	③
富士山	33%	④	34%	④	46%	②	20%	⑩	39%	④	9%	⑭	50%	②	45%	②	33%	③	37%	②
九州	11%	⑫	13%	⑪	10%	⑪	17%	⑫	20%	⑪	16%	⑤	8%	⑬	4%	⑲	7%	⑯	7%	⑭
沖縄	11%	⑬	12%	⑬	8%	⑫	23%	⑨	17%	⑮	11%	⑫	6%	⑰	10%	⑫	5%		5%	⑰

	欧米豪全体									
			イギリス		アメリカ		フランス		オーストラリア	
サンプル数	434		79		136		89		130	
	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位	比率	順位
北海道	7%	⑩	4%		9%	⑨	6%	⑮	8%	⑩
札幌	6%	⑬	5%	⑮	8%	⑩	2%		8%	⑩
函館	4%	⑱	0%		7%	⑫	4%	⑰	3%	⑰
帯広／十勝	3%		5%	⑮	3%		7%	⑪	0%	
ニセコ	2%		4%		2%		0%		1%	
知床／阿寒	1%		3%		1%		2%		0%	
旭川／富良野	2%		1%		4%		3%		1%	

東京	57%	①	54%	①	45%	①	63%	①	68%	①
大阪	27%	③	20%	③	21%	③	24%	③	42%	②
京都	31%	②	19%	④	22%	②	39%	②	42%	②
富士山	26%	④	24%	②	21%	③	20%	④	38%	④
九州	4%		1%		6%	⑱	4%	⑰	2%	⑱
沖縄	5%	⑰	5%	⑮	10%	⑦	2%		2%	

順位は20位まで表示

2. 「これらの観光地を知っていますか？」

<全員>

- 「北海道」の認知度は、12地域全体で47%（順位5位）、アジア全体で63%（順位4位）と非常に高く、こちらもゴールデンルートに次いでトップレベルにある。一方で、欧米豪全体では認知度は17%（順位12位）と、こちらもアジア全体に比べて低い水準になっている。
- 道内の各観光地の中では、認知度は「北海道」に次いで「札幌」が高いが、3番手はアジア全体では「函館」、欧米豪全体では「ニセコ」となっており、「ニセコ」は特に中国・オーストラリアで認知度が高い。台湾・香港では、道内の各観光地の認知度が全体的に他国より高い水準にあり、「ニセコ」を除く地域で2桁の比率となっている。

【図表2】日本の観光地の認知度（複数回答）

	12地域全体		アジア全体									
	比率	順位	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール		
サンプル数	6274	4149	533	504	519	521	515	524	519	514		
北海道	47%	⑤	64%	78%	78%	60%	60%	42%	57%	64%		
札幌	39%	⑨	41%	68%	72%	60%	48%	33%	32%	44%		
函館	15%		14%	55%	48%	13%	10%	7%	9%	15%		
帯広／十勝	6%		7%	18%	23%	2%	3%	2%	2%	2%		
ニセコ	5%		12%	5%	5%	3%	6%	1%	3%	8%		
知床／阿寒	5%		9%	16%	14%	2%	3%	2%	1%	3%		
旭川／富良野	10%		12%	37%	37%	6%	5%	4%	4%	7%		

東京	65%	①	70%	69%	77%	80%	72%	63%	61%	64%	71%
大阪	55%	③	64%	64%	77%	78%	70%	57%	51%	56%	58%
京都	53%	④	60%	58%	74%	74%	67%	59%	47%	46%	53%
富士山	62%	②	67%	72%	73%	77%	62%	65%	57%	64%	70%
九州	29%	⑭	40%	42%	61%	68%	52%	31%	15%	20%	28%
沖縄	42%	⑥	51%	53%	71%	74%	55%	37%	34%	39%	44%

	欧米豪全体									
	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア						
サンプル数	2125	539	526	534	526					
北海道	17%	12%	15%	17%	26%					
札幌	18%	12%	17%	15%	25%					
函館	3%	1%	5%	2%	5%					
帯広／十勝	2%	3%	2%	3%	1%					
ニセコ	4%	3%	4%	2%	6%					
知床／阿寒	2%	2%	3%	1%	1%					
旭川／富良野	3%	2%	4%	2%	3%					

東京	57%	55%	53%	55%	66%
大阪	38%	30%	31%	39%	52%
京都	39%	30%	33%	46%	47%
富士山	53%	51%	47%	47%	65%
九州	10%	5%	9%	10%	15%
沖縄	26%	22%	33%	24%	27%

順位は20位まで表示

3. 「日本のどこに行きたいですか？」 <全員>

- 「北海道」への訪問意欲は、12地域全体で33%（順位4位）、アジア全体で43%（順位2位）となっており、こちらもゴールデンルートに次いでトップレベルにある。特に、台湾・香港・シンガポールでは「北海道」への訪問意欲が1位となっている。一方、欧米豪全体では9%（順位10位）と、こちらもアジアに比べて低い水準となっている。
- 道内の各観光地の中では、訪問意欲は認知度同様に、「北海道」に次いで「札幌」が高いが、3番手はアジア全体では「函館」、欧米豪全体では「ニセコ」となっている。台湾・香港では、他国と比べ訪問意欲水準が高いものの、認知度水準ほどは高くなっていない。

【図表3】日本の観光地への訪問意欲（複数回答）

	12地域全体		アジア全体																	
	比率	順位	比率	順位	中国		台湾		香港		韓国		タイ		インドネシア		マレーシア		シンガポール	
サンプル数	5696		3963		529		498		514		501		501		481		464		475	
北海道	33%	④	43%	②	44%	③	52%	①	53%	①	30%	③	42%	③	25%	⑤	44%	③	55%	①
札幌	20%	⑦	25%	⑦	16%	⑪	33%	⑦	34%	⑦	29%	⑤	27%	⑥	17%	⑥	17%	⑦	25%	⑥
函館	6%	⑲	9%	⑲	4%		27%	⑪	19%	⑮	4%		4%	⑲	1%		4%	⑲	5%	⑲
帯広／十勝	2%		3%		3%		6%		8%		1%		1%		1%		1%		1%	
ニセコ	2%		2%		4%		1%		1%		0%		3%		1%		1%		4%	⑳
知床／阿寒	2%		2%		3%		6%		5%		1%		1%		1%		0%		1%	
旭川／富良野	4%		5%		5%		12%		13%		2%		2%		1%		1%		3%	
東京	48%	①	45%	①	47%	②	43%	③	40%	④	39%	①	43%	②	49%	①	47%	①	51%	③
大阪	33%	③	37%	④	34%	⑤	42%	④	42%	②	35%	②	36%	⑤	35%	③	37%	④	37%	④
京都	32%	⑤	34%	⑤	38%	④	47%	②	35%	⑥	30%	④	37%	④	29%	④	27%	⑤	31%	⑤
富士山	43%	②	41%	③	51%	①	36%	⑥	36%	⑤	21%	⑦	45%	①	43%	②	45%	②	52%	②
九州	12%	⑬	15%	⑪	15%	⑫	22%	⑮	27%	⑩	14%	⑩	12%	⑭	5%	⑮	7%	⑬	13%	⑧
沖縄	22%	⑥	25%	⑥	24%	⑦	36%	⑤	42%	③	27%	⑥	15%	⑧	15%	⑧	19%	⑥	25%	⑥

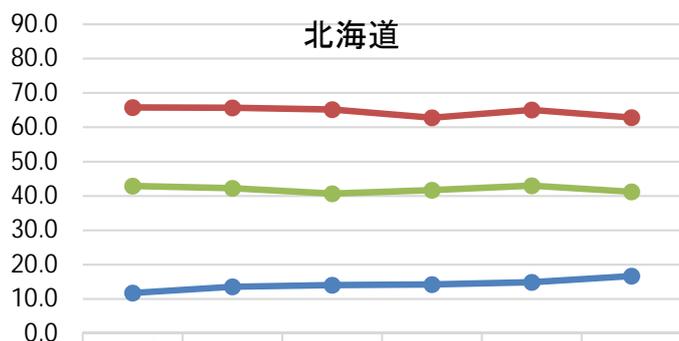
	欧米豪全体									
	イギリス		アメリカ		フランス		オーストラリア			
サンプル数	1733		434		442		402		455	
北海道	9%	⑩	6%	⑪	8%	⑩	8%	⑧	13%	⑧
札幌	8%	⑫	5%	⑫	6%	⑬	5%	⑬	13%	⑦
函館	1%		1%		2%		0%		2%	
帯広／十勝	1%		1%		2%		2%	⑲	1%	
ニセコ	2%		2%		3%		1%		3%	
知床／阿寒	1%		2%		2%		1%		0%	
旭川／富良野	2%		1%		2%		1%		2%	
東京	54%	①	51%	①	50%	①	54%	①	61%	①
大阪	22%	④	15%	⑤	19%	⑤	23%	④	32%	④
京都	27%	③	19%	④	25%	③	33%	③	33%	③
富士山	47%	②	45%	②	40%	②	49%	②	54%	②
九州	5%	⑭	2%		6%	⑰	4%	⑮	6%	⑮
沖縄	15%	⑥	10%	⑥	20%	④	13%	⑥	14%	⑥

p.4の質問において「知っている観光地」の中で「実際に行ってみたい観光地」を尋ねたもの。
順位は20位まで表示

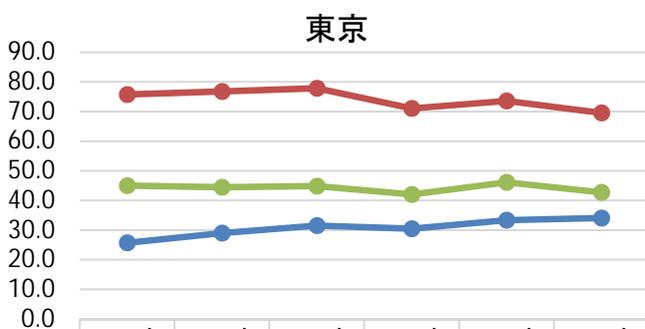
4. 過去調査の推移～訪問経験・認知度・訪問意欲～

- 2012年から実施されている本調査につき、過去調査におけるアジア全体の「北海道」に対する訪問経験・認知度・訪問意欲の推移を下記図表で示した。なお、下表の数値についてはアンケート回答者全員を母数とした割合を記載している。
- 北海道への訪問経験は、16.7%まで上昇している。認知度は、多少の増減があるものの調査開始以来65%前後で推移しており、訪問意欲は調査開始以来42%前後で推移している。
- 北海道は、東京・大阪と比較して認知度に対する訪問意欲の割合は高いものの、訪問意欲に対する実際の訪問経験の割合は低くなっている。

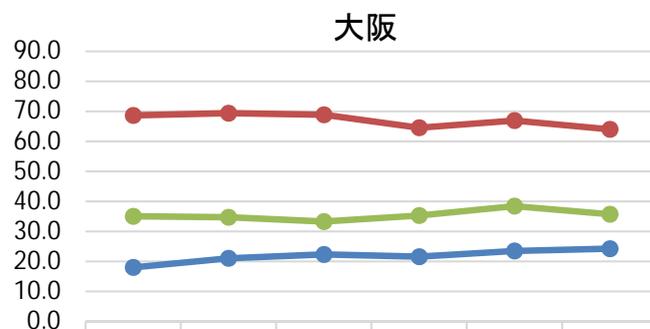
【図表4】過去調査の推移（数値は%表示）



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
● 訪問経験	11.7	13.6	14.0	14.2	14.9	16.7
● 認知度	65.8	65.7	65.2	62.8	65.1	62.9
● 訪問意欲	42.9	42.3	40.7	41.7	43.0	41.2



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
● 訪問経験	25.7	29.0	31.6	30.5	33.4	34.1
● 認知度	75.8	76.8	77.9	71.1	73.6	69.6
● 訪問意欲	45.0	44.5	44.9	42.1	46.2	42.7



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
● 訪問経験	18.0	21.1	22.3	21.6	23.5	24.3
● 認知度	68.7	69.4	68.9	64.6	67.0	64.0
● 訪問意欲	35.1	34.8	33.3	35.3	38.4	35.7

【図表5】倍率表（訪問意欲 / 認知度、訪問経験 / 訪問意欲）

訪問意欲 / 認知度	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
北海道	65.2%	64.3%	62.4%	66.4%	66.1%	65.6%
東京	59.4%	58.0%	57.6%	59.2%	62.7%	61.4%
大阪	51.1%	50.1%	48.3%	54.7%	57.4%	55.8%

訪問経験 / 訪問意欲	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
北海道	27.4%	32.1%	34.5%	34.1%	34.6%	40.4%
東京	57.1%	65.2%	70.3%	72.4%	72.3%	79.8%
大阪	51.4%	60.6%	67.0%	61.1%	61.2%	67.9%

5. 「これらの観光地を知っていますか？」（訪日経験回数別）

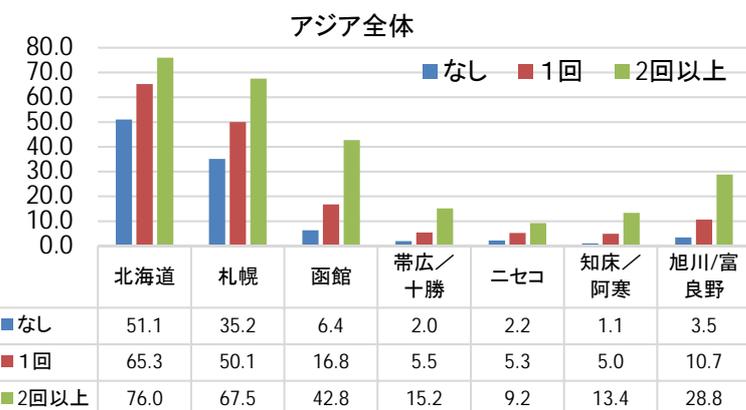
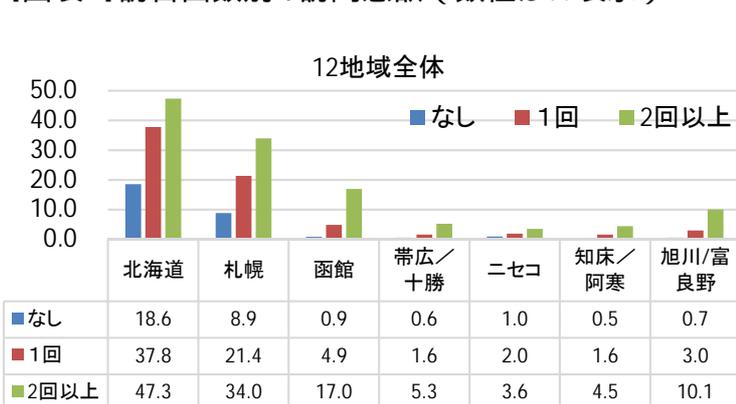
<全員>

- 訪日回数別（なし、1回、2回以上）に観光地の認知度・訪問意欲を下記図表で示した。なお、下表の訪問意欲の数値についてはアンケート回答者全員を母数とした割合を記載している。
- 北海道内の観光地において、訪日回数が増すにつれて認知度・訪問意欲ともに上昇する傾向がみられる。
- 認知度に対する訪問意欲の割合をみると、認知度の上昇に比例して訪問意欲も上昇する観光地がある一方、訪日回数が増しても認知度の上昇ほどに訪問意欲が上昇しない観光地もみられる。

【図表6】訪日回数別の認知度（数値は%表示）



【図表7】訪日回数別の訪問意欲（数値は%表示）



【図表8】12地域全体 倍率表（訪問意欲 / 認知度）

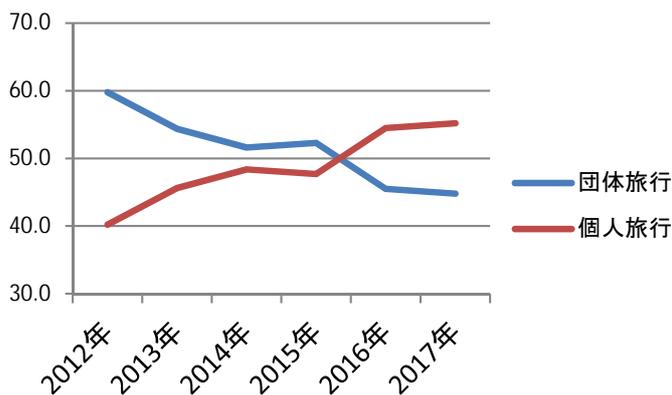
	北海道	札幌	函館	帯広／十勝	二セコ	知床／阿寒	旭川／富良野
なし	56.2%	35.5%	23.7%	39.3%	46.1%	47.4%	25.8%
1回	65.1%	47.1%	33.3%	32.2%	35.4%	38.8%	31.5%
2回以上	67.1%	53.8%	43.3%	36.9%	37.1%	35.1%	37.9%

6. 旅行形態

< 訪日経験者 >

- 訪日経験者に旅行の形態について尋ねた。旅行形態は、「ガイド付きパック旅行（自由行動日なし）」及び「ガイド付きパック旅行（自由行動日あり）」を団体旅行、「ガイドなしパック旅行」及び「個別手配」を個人旅行と区分する。
- アジア全体では団体旅行の割合は引き続き高いものの、過去調査推移を見ると団体旅行の割合は2012年59.8%から40.2%に低下し、個人旅行の割合が40.2%から55.2%に上昇している。

【図表9】旅行形態の変化（過去調査推移）



	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
団体旅行	59.8	54.4	51.6	52.3	45.5	44.8
ガイド付きパック旅行（自由行動日なし）	39.6	37.1	34.6	36.4	31.6	31.5
ガイド付きパック旅行（自由行動日あり）	20.2	17.3	17.0	15.9	13.9	13.3
個人旅行	40.2	45.6	48.4	47.7	54.5	55.2
航空券と宿泊施設のみがセットになったパック旅行	18.5	17.5	17.4	15.4	17.2	15.1
航空券と宿泊施設を個別に手配	16.8	23.5	26.2	28.7	33.7	36.9
航空券のみを出発前に手配（宿泊先は現地の手配）	4.9	4.6	4.8	3.5	3.7	3.3

アジア全体のみ。ビジネス・国際会議、研修・インセンティブ、留学は除く 数値は%表示。

7. 滞在希望日数

< 日本旅行希望者 >

- 日本旅行希望者が希望する滞在日数は、アジア全体では6-7日の割合が最も高く、欧米豪全体では10日以上が最も高い。アジア圏では韓国・台湾が比較的短く、シンガポール・マレーシアが比較的長い。フランスは10日以上を希望する割合が約9割弱となっている。
- 北海道訪問希望者については、アジア全体、欧米豪全体ともに日本全国より希望滞在日数が長期となっている。

【図表10】日本旅行希望者の滞在希望日数

	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
サンプル数→	3214	2352	284	377	371	168	283	267	284	318	862	208	227	193	234
平均滞在日数	9.2日	7.9日	8.2日	6.7日	7.7日	4.8日	7.2日	8.1日	9.0日	10.3日	12.7日	12.9日	10.8日	14.2日	13.0日
1-3日	3%	4%	2%	3%	1%	25%	7%	4%	1%	1%	1%	2%	1%	1%	1%
4-5日	23%	29%	23%	41%	26%	59%	35%	27%	19%	9%	8%	7%	18%	1%	6%
6-7日	29%	34%	36%	40%	42%	10%	36%	38%	28%	30%	14%	12%	24%	5%	13%
8-9日	7%	8%	10%	5%	7%	1%	2%	6%	10%	16%	5%	2%	6%	8%	6%
10日以上	38%	25%	28%	11%	23%	5%	21%	25%	41%	44%	71%	76%	52%	85%	75%

カラースケールを用いて色分けを実施している。（最小値）←→（最大値）

【図表11】北海道訪問希望者の滞在希望日数

	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
サンプル数→	1523	1334	162	229	242	102	152	93	149	205	189	33	58	37	61
平均滞在日数	8.9日	8.2日	8.5日	7.0日	7.9日	4.9日	7.6日	9.6日	9.4日	10.5日	13.8日	13.8日	11.4日	14.2日	16.0日

8. 日本での移動手段（交通機関） / 周遊パスの利用状況

< 訪日経験者 >

- 訪日経験者に、日本周遊に際して利用した交通手段について尋ねたところ、鉄道の利用が最も多くなっている。
- また、公共交通機関を利用した訪日経験者の中で、周遊パスの利用率は全体の7割を超えている。
- 過去調査と比較すると、今回調査では「飛行機」「貸切バス」の割合が低下している一方、「鉄道」「乗合バス」「レンタカー」といった移動手段の割合が上昇している。

【図表12】日本での移動手段（交通機関）（複数回答）

	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
サンプル数→	2792	2358	370	418	430	330	298	156	133	223	434	79	136	89	130
鉄道	59%	59%	33%	61%	73%	47%	66%	70%	71%	68%	59%	58%	57%	52%	66%
新幹線	54%	54%	73%	48%	56%	26%	54%	68%	64%	55%	54%	57%	57%	39%	58%
タクシー	34%	32%	52%	20%	28%	37%	33%	33%	27%	23%	42%	41%	50%	38%	37%
乗合バス	31%	31%	14%	27%	38%	40%	29%	43%	34%	30%	31%	37%	35%	26%	28%
旅行会社などが手配した車	22%	25%	37%	25%	18%	16%	29%	33%	25%	17%	8%	9%	11%	8%	5%
貸切バス	18%	17%	20%	21%	4%	19%	24%	15%	26%	15%	24%	27%	31%	24%	16%
レンタカー	16%	15%	16%	15%	17%	12%	16%	23%	15%	11%	18%	11%	24%	25%	11%
飛行機(国内線)	8%	8%	15%	4%	9%	4%	5%	15%	11%	7%	5%	5%	9%	1%	2%
その他	2%	1%	0%	3%	0%	2%	1%	1%	2%	2%	5%	1%	6%	4%	6%

カラースケールを用いて色分けを実施している。（最小値）⇔（最大値）

【図表13】周遊パスの利用状況

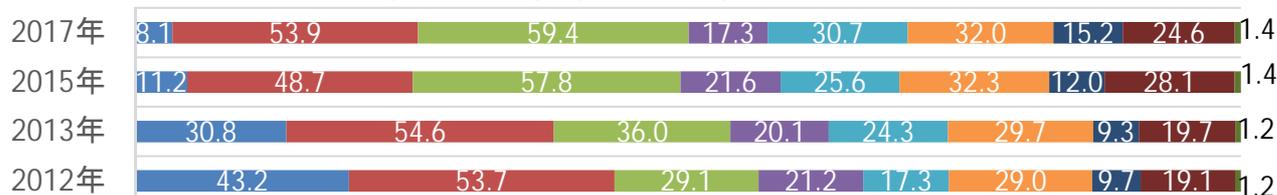
	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
サンプル数→	2337	1974	315	322	377	233	264	148	122	193	363	67	116	66	114
利用した	75%	75%	83%	71%	69%	69%	79%	87%	76%	72%	74%	69%	84%	62%	75%
利用しなかった	25%	25%	17%	29%	31%	31%	21%	13%	24%	28%	26%	31%	16%	38%	25%

周遊パスとは、一定の範囲内で鉄道やバスなどの公共交通機関を自由に利用できる乗車券のこと。

図表9の質問において「鉄道」「新幹線」「乗合バス」の何れかを利用した人を対象としている。

カラースケールを用いて色分けを実施している。（最小値）⇔（最大値）

【図表14】日本での移動手段（交通機関）（複数回答）



	2012年	2013年	2015年	2017年
■ 飛行機(国内線)	43.2	30.8	11.2	8.1
■ 新幹線	53.7	54.6	48.7	53.9
■ 鉄道	29.1	36.0	57.8	59.4
■ 貸切バス	21.2	20.1	21.6	17.3
■ 乗合バス	17.3	24.3	25.6	30.7
■ タクシー	29.0	29.7	32.3	32.0
■ レンタカー	9.7	9.3	12.0	15.2
■ 旅行会社などが手配した車	19.1	19.7	28.1	24.6
■ その他	1.2	1.2	1.4	1.4

アジア全体の回答のみ。2014年、2016年については同様の質問がなかったため分析の対象としない。

質問は、2015年までは「日本到着後、利用した交通手段」、2017年は「日本周遊の際に利用した交通手段」である。

9. 日本旅行でお金をかけたいもの

< 日本旅行希望者 >

- 日本旅行希望者が日本旅行でお金をかけたいものは、アジア全体では「食事」、欧米豪全体では「観光・レジャー」の割合が最も高くなっている。「宿泊施設」については、お金をかけたい割合はアジア全体では最も低い一方、欧米豪全体では2番目に高い割合となっている。

【図表15】日本旅行でお金をかけたいもの

サンプル数→	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
食事	35%	39%	25%	47%	49%	52%	43%	16%	37%	44%	22%	17%	21%	25%	23%
観光・レジャー	32%	28%	25%	25%	13%	17%	27%	54%	37%	30%	42%	41%	36%	41%	48%
買い物	20%	23%	41%	19%	29%	20%	24%	19%	15%	16%	12%	12%	16%	9%	11%
宿泊施設	13%	9%	9%	9%	9%	11%	6%	11%	10%	9%	24%	28%	26%	24%	18%
その他	0%	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	0%	0%

カラースケールを用いて色分けを実施している。(最小値)←→(最大値)

10. 日本旅行する場合の宿泊施設

< 日本旅行希望者 >

- 日本旅行希望者の希望する宿泊施設は、アジア全体、欧米豪全体とも「日本旅館」の人气が高く、12地域全体では7割強が日本旅館への宿泊を希望している。
- アジア全体では「現地の人から借りる家・アパート」「ユースホステル・ゲストハウス」での宿泊を希望する割合が欧米豪全体と比較して高く、欧米豪全体では「豪華で快適な高級ホテル」を希望する割合が高い。

【図表16】日本旅行する場合に希望する宿泊施設（複数回答）

サンプル数→	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
日本旅館	71%	74%	77%	75%	64%	68%	77%	81%	76%	76%	63%	66%	68%	54%	65%
豪華で快適な高級ホテル(西洋式)	42%	40%	62%	50%	53%	36%	21%	20%	25%	40%	49%	46%	52%	44%	54%
安価で基本的な設備のみが備わっているホテル(西洋式)	37%	36%	19%	29%	32%	44%	47%	35%	44%	44%	41%	37%	38%	46%	43%
現地の人から借りる家・アパート	21%	23%	18%	18%	21%	17%	19%	33%	29%	30%	17%	13%	17%	23%	16%
ユースホステル・ゲストハウス	14%	15%	15%	12%	9%	18%	14%	28%	19%	13%	10%	7%	8%	17%	6%
その他	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	1%	1%	3%	1%	1%

カラースケールを用いて色分けを実施している。(最小値)←→(最大値)

11. 日本の宿泊施設に求めること

< 日本旅行希望者 >

- 日本旅行希望者が宿泊施設に求めることの上位は、過去調査同様、アジア全体では「通信環境の整備」「観光施設へのアクセス」、欧米豪全体では「英語対応」となっている。
- アジア全体について過去調査を比較すると、「通信環境の整備」「英語対応」は引き続き上位ではあるものの、その割合は低下傾向にある。

【図表17】日本の宿泊施設に求めること（複数回答）

	12地域全体	アジア全体									欧米豪全体				
		中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール	イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア		
サンプル数→	3214	2352	284	377	371	168	283	267	284	318	862	208	227	193	234
通信環境の整備（インターネット、Wi-Fi等）	35%	38%	34%	43%	40%	35%	38%	36%	35%	41%	24%	24%	20%	21%	31%
観光施設へのアクセス	34%	36%	26%	44%	39%	34%	43%	45%	29%	23%	27%	20%	24%	36%	30%
低価格	28%	29%	7%	24%	25%	23%	37%	46%	39%	35%	23%	26%	18%	19%	27%
英語対応	27%	25%	9%	16%	26%	14%	28%	31%	33%	41%	33%	30%	34%	35%	34%
日本文化の体験（浴衣・着物着用、餅つき、伝統的な遊び体験等）	22%	21%	30%	18%	11%	16%	16%	25%	29%	22%	24%	23%	26%	22%	25%
日本料理、地元の酒などの充実	21%	22%	35%	32%	19%	23%	21%	11%	17%	13%	19%	15%	16%	27%	19%
部屋からの眺望	20%	19%	17%	22%	14%	21%	21%	19%	19%	22%	22%	29%	20%	18%	21%
ショッピング施設へのアクセス	20%	23%	22%	20%	38%	17%	16%	20%	18%	24%	13%	11%	16%	11%	13%
宿泊施設外で夕食を食べることを選択できる	15%	12%	18%	7%	8%	17%	10%	9%	19%	15%	23%	21%	19%	24%	27%
広い温浴施設（露天風呂等）	13%	15%	26%	14%	15%	27%	14%	13%	8%	8%	8%	8%	12%	9%	3%
高価格でも高水準のサービスや施設	11%	10%	16%	12%	13%	8%	7%	4%	7%	7%	15%	14%	19%	9%	16%
母国語対応	11%	10%	13%	14%	7%	14%	15%	7%	5%	7%	13%	15%	15%	15%	8%
貸切風呂の設置	7%	6%	5%	3%	5%	14%	5%	5%	6%	10%	8%	10%	9%	4%	8%
スパやエステの充実	6%	6%	10%	3%	8%	7%	5%	3%	5%	4%	6%	8%	6%	8%	3%
様々な入浴スタイルへの対応（水着・タオル等）	5%	5%	11%	2%	5%	2%	4%	5%	4%	4%	5%	4%	8%	5%	4%
宗教や信条への配慮	4%	4%	4%	1%	1%	1%	2%	6%	10%	4%	5%	6%	8%	2%	4%
その他	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	1%	0%	2%

カラースケールを用いて色分けを実施している。（最小値）←→（最大値）

【図表18】日本の宿泊施設に求めること（過去調査比較）

2015年		アジア全体	2016年		アジア全体	2017年		アジア全体
順位	サンプル数→		順位	サンプル数→		順位	サンプル数→	
1	通信環境の整備（インターネット、Wi-Fi等）	41%	1	通信環境の整備（インターネット、Wi-Fi等）	42%	1	通信環境の整備（インターネット、Wi-Fi等）	38%
2	観光施設へのアクセス	35%	2	観光施設へのアクセス	36%	2	観光施設へのアクセス	36%
3	低価格	32%	3	低価格	30%	3	低価格	29%
4	英語対応	28%	4	英語対応	26%	4	英語対応	25%
5	日本文化の体験（浴衣・着物着用、餅つき、伝統的な遊び体験等）	24%	5	日本文化の体験（浴衣・着物着用、餅つき、伝統的な遊び体験等）	26%	5	ショッピング施設へのアクセス	23%
6	日本料理、地元の酒などの充実	22%	6	ショッピング施設へのアクセス	21%	6	日本料理、地元の酒などの充実	22%
7	ショッピング施設へのアクセス	21%	7	日本料理、地元の酒などの充実	20%	7	日本文化の体験（浴衣・着物着用、餅つき、伝統的な遊び体験等）	21%
8	部屋からの眺望	18%	8	広い温浴施設（露天風呂等）	19%	8	部屋からの眺望	19%
9	広い温浴施設（露天風呂等）	18%	9	部屋からの眺望	18%	9	広い温浴施設（露天風呂等）	15%
10	宿泊施設外で夕食を食べることを選択できる	13%	10	宿泊施設外で夕食を食べることを選択できる	14%	10	宿泊施設外で夕食を食べることを選択できる	12%

上位10位まで表示

12. 「北海道観光に何を期待しますか？」（アジア全体）

<北海道訪問希望者>

- 北海道訪問希望者に対し、「何を期待して行ってみたいと思うか」と尋ねたところ、アジア全体では過去調査同様、「自然や風景の見物」「雪景色鑑賞」がほぼ同水準で上位となった。
- 全国と比較すると、北海道では、「自然や風景の見物」「雪景色鑑賞」「エコツーリズムに参加」といった自然に関する項目や、「ウィンタースポーツ」「登山やハイキング」「サイクリング」といったアクティビティに関する項目への期待が高い一方、「繁華街の街歩き」への期待は低くなっている。

【図表19】北海道観光への期待（複数回答）アジア全体

順位	サンプル数→	アジア全体								
		2027	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール
1(1)	↑ 自然や風景の見物	66%	58%	73%	69%	58%	59%	66%	72%	70%
2(2)	↑ 雪景色鑑賞	65%	48%	78%	76%	57%	60%	55%	70%	66%
3(3)	↓ 伝統的・日本料理を食べる	58%	39%	63%	62%	50%	52%	58%	61%	73%
4(4)	↑ 温泉への入浴	53%	41%	64%	53%	48%	51%	44%	61%	57%
5(5)	↓ 現地の人が普段利用している安価な食事	50%	23%	58%	53%	36%	52%	63%	61%	61%
6(6)	↓ 日本旅館での宿泊	44%	31%	50%	41%	35%	44%	44%	54%	55%
7(9)	↑ エコツーリズムに参加	43%	29%	40%	39%	35%	47%	51%	51%	56%
8(7)	↓ リーズナブルで清潔な施設での宿泊	43%	33%	44%	44%	36%	43%	44%	50%	51%
9(8)	↑ 日本の伝統的な住宅を利用した宿への宿泊	42%	33%	41%	46%	33%	37%	55%	51%	42%
10(12)	↑ スイーツを食べる	38%	28%	46%	47%	30%	42%	43%	37%	32%
11(13)	↑ 紅葉の観賞	38%	27%	31%	35%	14%	43%	50%	54%	53%
12(11)	↓ 桜の観賞	37%	27%	31%	34%	15%	40%	52%	55%	49%
13(10)	↓ 日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	37%	31%	41%	33%	36%	35%	37%	43%	41%
14(16)	↓ 食品や飲料のショッピング	37%	23%	43%	43%	24%	31%	37%	43%	48%
15(19)	↓ 有名な史跡や歴史的な建築物の見物	36%	28%	27%	38%	19%	41%	53%	50%	41%
20(18)	↑ ウィンタースポーツ	27%	17%	24%	14%	17%	31%	37%	44%	42%
23(28)	↓ 繁華街の街歩き	27%	17%	24%	14%	17%	31%	37%	44%	42%
31(30)	↑ 登山やハイキング	23%	17%	27%	18%	14%	26%	29%	32%	26%
34(33)	↑ サイクリング	19%	16%	17%	17%	9%	29%	36%	25%	14%

順位欄の（ ）内は、前回調査時の順位。 項目欄の矢印は全国との順位比較。

【図表20】日本旅行への期待（複数回答）アジア全体

順位	サンプル数→	アジア全体								
		10411	中国	台湾	香港	韓国	タイ	インドネシア	マレーシア	シンガポール
1	伝統的・日本料理を食べる	54%	37%	62%	62%	46%	50%	55%	57%	64%
2	自然や風景の見物	51%	40%	56%	52%	40%	52%	55%	58%	57%
3	現地の人が普段利用している安価な食事	48%	23%	59%	54%	39%	48%	53%	55%	59%
4	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	42%	33%	43%	42%	29%	44%	48%	50%	46%
5	リーズナブルで清潔な施設での宿泊	41%	27%	44%	44%	37%	40%	44%	49%	49%
6	日本旅館での宿泊	40%	29%	44%	38%	32%	44%	40%	50%	50%
7	桜の観賞	40%	30%	39%	38%	24%	43%	50%	51%	49%
8	温泉への入浴	39%	28%	41%	42%	33%	38%	39%	45%	48%
9	食品や飲料のショッピング	38%	24%	45%	45%	28%	35%	37%	44%	49%
10	スイーツを食べる	38%	25%	47%	46%	29%	42%	39%	39%	36%
11	日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	37%	29%	42%	37%	35%	36%	35%	41%	43%
12	繁華街の街歩き	37%	28%	39%	26%	28%	35%	48%	50%	49%
13	日本の伝統的な住宅を利用した宿への宿泊	37%	27%	39%	39%	27%	36%	43%	45%	40%
14	世界遺産の見物	37%	26%	35%	37%	23%	40%	49%	46%	44%
15	エコツーリズムに参加	36%	23%	32%	31%	26%	40%	47%	48%	50%
42	登山やハイキング	19%	15%	21%	15%	11%	20%	23%	28%	22%
43	サイクリング	18%	14%	18%	15%	10%	25%	28%	25%	17%
47	ウィンタースポーツ	17%	14%	15%	14%	11%	22%	22%	27%	19%

12-2 . 「北海道観光に何を期待しますか？」（欧米豪全体）

< 北海道訪問希望者 >

- 北海道観光に期待することについて、欧米豪全体では前回調査同様、アジアと比較して「エコツーリズムに参加」「有名な史跡や歴史的な建築物の見物」「世界遺産の見物」等の知的欲求を満足させるような項目への期待が高くなっている。
- 全国と比較すると、「紅葉の鑑賞」「温泉への入浴」への期待が高いが、「有名な史跡や歴史的な建築物の見物」「世界遺産の見物」への期待は低くなっている。

【図表21】北海道観光への期待（複数回答）欧米豪全体

		欧米豪全体				
			イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
順位	サンプル数→	287	53	80	60	94
1(2)	⇒ 伝統的日本料理を食べる	54%	43%	51%	52%	63%
2(1)	↑ 自然や風景の見物	53%	45%	40%	57%	66%
3(5)	↑ エコツーリズムに参加	51%	51%	43%	42%	63%
4(3)	↑ 現地の人が普段利用している安価な食事	50%	42%	44%	53%	57%
5(10)	↑ 日本旅館での宿泊	48%	32%	53%	53%	50%
6(12)	↑ 日本文化の体験(寿司握り、そば打ち等)	47%	42%	41%	58%	48%
7(4)	↑ リーズナブルで清潔な施設での宿泊	43%	42%	38%	45%	48%
8(6)	↓ 有名な史跡や歴史的な建築物の見物	43%	47%	38%	50%	39%
9(14)	↑ 紅葉の鑑賞	39%	42%	36%	33%	43%
10(13)	↑ 日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	39%	30%	40%	37%	44%
11(8)	⇒ 桜の鑑賞	38%	38%	33%	48%	37%
12(11)	↑ 温泉への入浴	38%	32%	25%	47%	48%
13(9)	↓ 世界遺産の見物	38%	42%	25%	53%	37%
14(21)	↓ 繁華街の街歩き	38%	43%	31%	40%	38%
15(20)	↓ 日本の人々と交流	37%	25%	41%	42%	37%

項目欄の矢印は全国との順位比較。

【図表22】日本旅行への期待（複数回答）欧米豪全体

		欧米豪全体				
			イギリス	アメリカ	フランス	オーストラリア
順位	サンプル数→	3246	668	902	709	967
1	伝統的日本料理を食べる	59%	58%	53%	62%	62%
2	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	52%	51%	49%	58%	52%
3	自然や風景の見物	52%	52%	44%	52%	58%
4	繁華街の街歩き	51%	51%	43%	59%	52%
5	現地の人が普段利用している安価な食事	50%	47%	45%	48%	57%
6	エコツーリズムに参加	47%	49%	45%	45%	50%
7	世界遺産の見物	47%	46%	38%	57%	47%
8	日本文化の体験(寿司握り、そば打ち等)	47%	44%	46%	47%	48%
9	リーズナブルで清潔な施設での宿泊	42%	41%	41%	40%	46%
10	日本旅館での宿泊	42%	36%	42%	43%	45%
11	桜の鑑賞	41%	39%	37%	45%	42%
12	イベント・祭りの見物	40%	38%	41%	45%	38%
13	日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	40%	40%	41%	39%	40%
14	日本の人々と交流	39%	32%	43%	42%	37%
15	美術品や文化財、博物館の鑑賞	38%	38%	36%	39%	40%
⋮						
16	紅葉の鑑賞	35%	37%	30%	34%	39%
⋮						
23	温泉への入浴	32%	29%	26%	37%	37%

12-3. 「北海道観光に何を期待しますか？」（過去調査比較）

<北海道訪問希望者>

- 過去調査における北海道観光への期待項目を比較すると、5位までは全く変動がなく、上位項目には根強い期待があることがうかがえる。また、6位から15位においては多少の順位変動はあるものの、項目自体に大きな変動はみられない。
- 上位項目の中で、「エコツーリズムに参加」「スイーツを食べる」「有名な史跡や歴史的な建築物の見物」の項目は3年連続で順位が上昇している。

【図表23】北海道観光への期待（アジア全体）～過去調査比較

2015年		アジア全体	2016年		アジア全体	2017年		アジア全体
順位	サンプル数→	1714	順位	サンプル数→	2289	順位	サンプル数→	2027
1	自然や風景の見物	73%	1	自然や風景の見物	69%	1	自然や風景の見物	66%
2	雪景色観賞	70%	2	雪景色観賞	68%	2	雪景色観賞	65%
3	伝統的の日本料理を食べる	65%	3	伝統的の日本料理を食べる	59%	3	伝統的の日本料理を食べる	58%
4	温泉への入浴	59%	4	温泉への入浴	56%	4	温泉への入浴	53%
5	現地の人が普段利用している安価な食事	57%	5	現地の人が普段利用している安価な食事	53%	5	現地の人が普段利用している安価な食事	50%
6	日本旅館での宿泊	49%	6	リーズナブルで清潔な施設での宿泊	45%	6	日本旅館での宿泊	44%
7	リーズナブルで清潔な施設での宿泊	47%	7	日本旅館での宿泊	46%	7	エコツーリズムに参加	43%
8	日本の伝統的な住宅を利用した宿への宿泊	45%	8	エコツーリズムに参加	42%	8	リーズナブルで清潔な施設での宿泊	43%
9	桜の観賞	43%	9	日本の伝統的な住宅を利用した宿への宿泊	42%	9	日本の伝統的な住宅を利用した宿への宿泊	42%
10	紅葉の観賞	42%	10	日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	40%	10	スイーツを食べる	38%
11	エコツーリズムに参加	42%	11	桜の観賞	39%	11	紅葉の観賞	38%
12	日本文化の体験(寿司握り、そば打ち等)	41%	12	スイーツを食べる	39%	12	桜の観賞	37%
13	スイーツを食べる	40%	13	紅葉の観賞	38%	13	日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	37%
14	日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	39%	14	世界遺産の見物	37%	14	食品や飲料のショッピング	37%
15	食品や飲料のショッピング	39%	15	イベント・祭りの見物	38%	15	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	36%
21	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	35%	17	有名な史跡や歴史的な建築物の見物	36%			

13. 「最も満足した点は何ですか？」

<北海道訪問経験1回>

- 北海道訪問経験1回の旅行者に「日本旅行の際最も満足したもの」について尋ねたところ、前回調査同様、「伝統的の日本料理」「温泉への入浴」「自然や風景の見物」の満足度が高くなった。
- 全国調査と比較すると、「繁華街の街歩き」の満足度は北海道25位 / 全国10位と差がある。

【図表24】満足項目（5つまで選択）

順位	サンプル数→	北海道訪問経験者		訪日経験者(全国)	
		12地域全体	アジア全体	12地域全体	アジア全体
1	→	39%	41%	40%	41%
2	↑	30%	32%	24%	27%
3	↓	28%	29%	29%	29%
4	↑	26%	26%	21%	23%
5	↑	20%	20%	14%	16%
6	↑	18%	20%	12%	14%
7	↓	17%	17%	23%	23%
8	↓	16%	15%	19%	18%
9	↓	13%	14%	18%	20%
10	↑	13%	13%	12%	13%
11	↓	13%	14%	13%	16%
12	↑	13%	14%	12%	13%
13	↑	11%	11%	10%	11%
14	↑	11%	11%	11%	12%
15	→	10%	10%	12%	13%

満足項目については、欧米豪全体の回答数が29以下でありサンプル数として有意ではないため、分析の対象としない。

順位は上位15位まで表示。項目欄の矢印は全国との順位比較。

訪日経験1回かつ北海道訪問経験者の回答は、北海道を訪問する外国人旅行者の意向を反映する度合いが高いと考えられる。

14. 「最も不満だった点は何ですか？」

< 北海道訪問経験1回 >

- 北海道訪問経験1回の旅行者に「日本旅行の際最も不満であったもの」について尋ねたところ、「母国語の通用しやすさ」が1位となったが、「英語の通用しやすさ」は前回2位から12位に低下した（全国調査では1位）。また、「安価な施設での宿泊」は前回9.4%（7位） 16.1%（2位）と不満度が高くなっている。
- 全国と比較すると、「ギャンブルやショー体験」の不満度は北海道5位 / 全国34位と差がある。

【図表25】不満項目（5つまで選択）

順位	サンプル数→	北海道訪問経験者		訪日経験者(全国)	
		12地域全体	アジア全体	12地域全体	アジア全体
1	↑ 母国語の通用しやすさ	19%	32%	13%	14%
2	↑ 安価な施設での宿泊	16%	25%	10%	11%
3	↑ 日本の酒(日本酒・焼酎)	13%	22%	10%	10%
4	↑ 家電製品やAV製品のショッピング	13%	21%	7%	8%
5	↑ ギャンブルやショー体験	10%	17%	5%	5%
6	↑ 最新のファッションや流行の見物	10%	12%	9%	8%
7	↓ 旅行代金	10%	16%	11%	11%
8	↑ 繁華街の街歩き	10%	15%	8%	7%
9	↑ 近代的／先進的な建築物の見物	9%	15%	8%	9%
10	↑ 史跡や歴史的な建築物の見物	9%	13%	7%	7%
11	↑ ブランド品や宝飾品のショッピング	9%	15%	7%	8%
12	↓ 英語の通用しやすさ	9%	13%	14%	14%
13	↑ 高級ホテルでの宿泊	8%	14%	6%	7%
14	↓ 洋服やファッション雑貨のショッピング	8%	12%	8%	9%
15	↑ 世界遺産の見物(説明の充実度含む)	8%	11%	6%	6%

不満項目については、欧米豪全体の回答数が29以下でありサンプル数として有意ではないため、分析の対象としない。

順位は上位15位まで表示。項目欄の矢印は全国との順位比較。

訪日経験1回かつ北海道訪問経験者の回答は、北海道を訪問する外国人旅行者の意向を反映する度合いが高いと考えられる。

15. 期待項目×満足項目比較

- 北海道への期待項目上位15位について、各項目の満足度順位と比較した。
- 期待の高さと比較して、特に「エコツーリズムに参加」、「リーズナブルで清潔な施設での宿泊」、「スイーツを食べる」の満足度が低くなっている。

【図表26】期待項目・満足項目比較表（アジア全体のみ）

アジア全体	期待度		満足度		順位比較差
	順位	比率	順位	比率	
サンプル数→	2027		236		
自然や風景の見物	1	66%	3	41%	-2
雪景色観賞	2	65%	6	32%	-4
伝統的日本人料理を食べる	3	58%	1	29%	+2
温泉への入浴	4	53%	2	26%	+2
現地の人が普段利用している安価な食事	5	50%	7	20%	-2
日本旅館での宿泊	6	44%	5	20%	+1
エコツーリズムに参加	7	43%	23	17%	-16
リーズナブルで清潔な施設での宿泊	8	43%	43	15%	-35
日本の伝統的な住宅を利用した宿への宿泊	9	42%	11	14%	-2
スイーツを食べる	10	38%	24	13%	-14
紅葉の観賞	11	38%	20	14%	-9
桜の観賞	12	37%	4	14%	+8
日本の酒(日本酒・焼酎)を飲む	13	37%	13	11%	0
食品や飲料のショッピング	14	37%	16	11%	-2
有名な史跡や歴史的な建築物の見物	15	36%	8	10%	+7

期待項目は複数回答、満足項目は5つまで選択のため、両者の比率水準には差異がみられる。



©Development Bank of Japan Inc.2017

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 北海道支店 企画調査課

〒060-0003

札幌市中央区北3条西4丁目1 日本生命札幌ビル4F

Tel : 011-241-4117

E-mail : hkinfo@dbj.jp

HP : <http://www.dbj.jp/co/info/branchnews/hokkaido/>